

1

新しい公共支援事業 「NPOの情報発信セミナー」

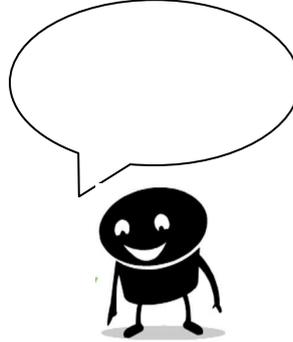
NPO法人の事業報告書

～団体の姿が見えてくるような事業報告書にしよう～

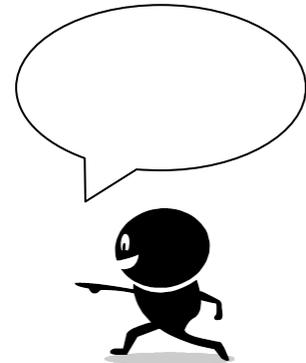
1 団体の姿＝「何のために、何をして、どんな成果が生まれているか？」



会員・役員等



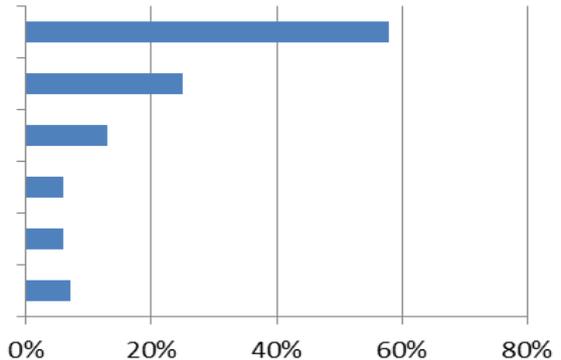
参加・応援してくれた市民



協働を考えている、企業や行政

2 所轄庁への「事業報告書」と「総会資料」どうしていますか？

- 「総会資料」と「事業報告書」が同じ情報量
- 「総会資料」の一部を「事業報告書」として提出
- 「総会資料」とは別に「事業報告書」を作成し提出
- 法人のHPで事業報告書を公開
- 法人発行の広報誌等で事業報告書を公開
- 民間のポータルサイト等で事業報告書を公開



●事業報告書の平均量 _____ ページ

NPO法人経営実態把握事業報告書(岡山県 2010 年度)より

3 提出した「事業報告書」はどうなるの？

このサイトは、愛知県県民生活部社会活動推進課NPOボランティアグループが運営しています。

あいちNPO交流プラザ

NPO法人情報検索結果 個別情報

アビール映像なし | アビール情報印刷レビュー | 印刷方法は こちら | 該当リスト

※ 印刷レビューでは「アビール情報」すべての他、基本情報の「団体名称」、「申請受理番号」、「認証年月日」、「代表者氏名」も表示されます。

基本情報	
申請受理番号	157
団体名称	はなかご
代表者氏名	立花亜紀子
主たる事務所所在地	豊田市本新町4丁目101番地
活動分野	<input checked="" type="checkbox"/> 保健・医療・福祉 <input checked="" type="checkbox"/> 学術・文化・芸術・スポーツ <input type="checkbox"/> 地域安全 <input type="checkbox"/> 男女共同参画 <input type="checkbox"/> 科学技術 <input type="checkbox"/> 消費者保護 <input type="checkbox"/> 社会教育 <input type="checkbox"/> 環境保全 <input type="checkbox"/> 人権擁護・平和推進 <input type="checkbox"/> 子どもの健全育成 <input type="checkbox"/> 経済活動 <input type="checkbox"/> NPOの援助
定款に記載された目的	この法人は、だれもが共に生きる社会を目指し、生活支援が障・年齢・心身の状況等に応じたサービスを総合的に提供する考え、地域福祉の増進を図ることにより、社会全体の利益に寄
財政情報	年度 2010 収入総額 69,411,450円 支出総額 58,144,924円
ダウンロード	事業報告書(直近) 事業報告書(1期前) 事業報

4 「事業報告書」に記載すべき項目は？

■基本項目は・・・

事業名

ア) 事業内容 イ) 開催日時 ウ) 会場 エ) 従事者数 オ) 参加者数
カ) 支出額 キ) 収入額

例1

(例) 定款に記載のある事業・・・ 1 スポーツ事業 2 研修会事業 3 広報啓発事業・・・

1 スポーツ事業	①ソフトボール事業	②ウォーキング大会	③老人福祉大会協力事業
実施期日	○月～○月	○月○日	○月○日
実施場所	***グラウンド	***公園	***体育館
従業者数	○名	○名	○名
参加者数	会員○名	会員・地域住民○名	地域住民○名

例2

(1) 特定非営利活動に係る事業

1 知的なしょうがいのある人の福祉について学ぶ機会を提供する事業

①「☆☆☆☆」上映会の開催(〇〇市市民協働まつりの一環として)

ア 開催日 〇年〇月〇日
イ 場 所 ****会館 小ホール
ウ 内 容 知的なしょうがいのある人のさまざまな可能性について理解することを目的に、知的なしょうがいのある人の生活を描いた映画「☆☆☆☆」を開催した。
エ 講 師 〇〇〇氏 (映画製作監督)
オ 従事者 スタッフ4名、当日運営ボランティア14名
カ 参加者 70名
キ 支出額 〇〇円 (内訳; DVDレンタル料〇円、チラシ作成料〇円、ちらし郵送料〇円、講師謝金〇円、他〇円)
ク 収入額 〇〇円 (内訳; 資料代 〇円×65名)
ケ その他 ****会館の会場費は、〇〇市〇〇課の協働事業として行ったため無料となった。
コ 成果課題 〇〇監督から撮影したときのエピソードや、施設の様子などの話を聞くことができ、触れ合う機会を重ねることでしょうがいのある人への理解は自然に深まっていくことを多くの参加者が共感できる機会となった。映画のように、〇〇市の施設についても、地域の人々の小さな支援を合わせていこうという発言も出された。

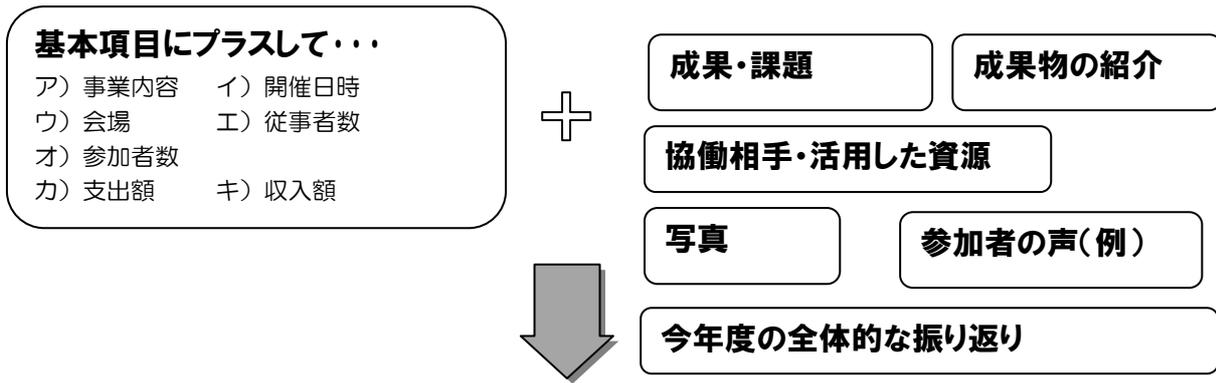


映画会後に行った活発な意見交換の様子



協働を考えている、企業や行政

5 こんな点をプラスすると、団体の姿が見えてくる・・・



例3

平成〇〇年度事業報告書

特定非営利活動法人〇〇〇〇

1 事業実施の概略

特定非営利活動法人〇〇〇〇は、しょうがいのある人もない人も、ひとりひとりが役割を果たし、生きがいをもった豊かな社会の実現をめざし、次のような事業を行った。

特に、今年後は、前年度から取り組んだ、知的なしょうがいを持つ人友だちをつくり、地域で生活や余暇を楽しむ活動を、しょうがいのある人自身が企画して運営する「なかよし会」のメンバーを広げ、定例の活動とすることができた。

同時に、〇〇市で初めて市民協働まつりが開かれるという機会があり、その実行委員会に参加することで、いろいろな団体との交流を得ることができ、今後の啓発理解活動の可能性を考えることができた。

6 会議開催についての記述も忘れずに

例4

(1)総会

ア 実施日 * * * *
 イ 場所 * * * *
 ウ 出席者数 * * * *
 エ 議題 (1) * * * * *
 (2) * * * * *

(2)理事会

回数	日時／場所	主な議題	参加者

(3)その他

①毎月1回、各事業部門のリーダーが集まるリーダー会議を行い、活動の内容調整を行った。

(〇年度、開催回数〇回。対象リーダー〇名)

②また、〇〇部門においては、毎週月曜午前に、〇〇部会会議を開催し、〇〇事業の進捗等をチェックした。

7 まとめ

よりよい事業報告書作成に向けて・・・

- ①事業の _____ を記そう。 ⇒自分たちの成長がチェックできる。
⇒そのためには、アンケートや振り返り会議も忘れずに。
- ②活動の _____ もコンパクトに伝えよう ⇒写真、参加者の感想の紹介等
- ③実施形態や協力相手も記そう ⇒どんなネットワークがあるのか、どんな協働が可能な
のかが伝わってくる
- ④「 _____ 的に今年度どうだったか」 ⇒団体の重点課題、地域のニーズ・動き等を踏まえて
- ⑤ _____ 運営についての情報も ⇒理事会や運営会議
「人材」「コミュニケーション」「資金」の
マネジメントについての記述



例えば

例えば

1 スポーツ事業	①ソフトボール事業	②ウォーキング大会	③老人福祉大会協力事業
実施期日	○月～○月	○月○日	○月○日
実施場所	***グラウンド	****公園	***体育館
従業者数	○名	○名	○名
参加者数	会員○名	会員・地域住民○名	地域住民○名

例えば

— 総括報告

1 2010年度の取組概要

- 2001年6月28日に特定非営利活動法人ボランティアネイバーズ（以下、VNS）が法人設立されました。間もなく満10歳になります。
- 本年度は定款上の6つの基本事業に基づき、国の緊急雇用対策事業を含め、正職員19名（常勤11名、パート8名）、臨時職員14名を中心に、各方面からのご支援・ご協力をいただきながら、約40種の事業を展開しました。収支決算は、1億1,500万円にのびりました。
- 中間支援組織の場合、年度ごとに異なった地域ニーズを受け止めて事業を実施していく必要があります。多様なニーズを受け止めることができるようになってきましたが、そのためにはより高度なコーディネート力が問われました。
- 2010年度の特徴的な取り組みは以下の通りです。
 - ・「愛知県NPO雇用状況等調査」（愛知県内1400法人対象に調査。人材や意識調査も実施。）
 - ・「NPO法人の会計基準」の普及啓発活動（2010年7月作成の同基準の説明会開催）
 - ・「あいちモリコロ基金」助成活動評価事業（2007年から始まった助成事業の成果の調査）

～以下、略～

2 NPO・まちづくり活動と取り巻く状況について

- NPO法人は、2011年4月末現在、全国で42,556団体、愛知県内で1,409団体（申請数1,454）となりました。昨年と比べ、全国で約3,000、愛知県で約100団体増えています。……

～以下、略～

二 各事業の報告

I 特定非営利活動

1 研修事業

① 株式会社デンソー NPOインターンシップ事業

【目的】 50歳以上の社員を対象にキャリアやスキルを社会還元し、定年後のライフスタイルの選択肢を増やすと共に、社会参画する人材の育成を実践することでNPO活動の発展に寄与し社会からの信頼や共感を得ること。

【内容】 NPOや地域活動を知る基礎講座・現場見学、NPOとのマッチング意見交換会、現場体験、体験発表会を行った。また、取り組みを取材し広報用ビデオを制作した。

【実施日・内容・講師・参加人数】

日時・会場	内容	詳細・参加者数
6月6日(日) 6月13日(日)	ステップ1 ○バスツアー	本社前に集合しバスにて知多地域のNPO4団体を2回に分かれて見学。 研修参加者延べ26名
6月27日(日) 本社5号館・205ab	ステップ2 ○マッチング	基本レクチャー後、DECOスクールにおいて、出店NPOとのマッチング相談を実施。 12名参加
7月～12月	ステップ3 ○現場体験	体験希望者に居住地のNPOや支援センターを紹介し体験活動を支援。
1月15日(日) 本社5号館・206a	ステップ4 ○発表会	研修参加者(過去の参加者も参加)の感想発表等交流会を実施。 17名参加・8名発表

【実施形態】 株式会社デンソー委託事業

【事業収入】 1,067,220円

【評価】 インターンシップで定められた現場体験期間だけでなく、継続的に活動参加している研修者もあるが、体験に向け最初の一步が踏み出しにくいとの声があり、継続的な支援で研修プログラムの目的達成を図る工夫が必要。



▲バスツアー のぞみの家



▲マッチング相談

3 組織管理運営について

I 組織管理運営について

① 人のマネジメント：多様な人材マネジメントとコーディネート力

- 2010年度は、国の雇用対策事業を中心に事業が拡大した結果、正規職員19名、うち常勤11名、非常勤8名、そして臨時雇用者が14名となった。
- こうした事業規模拡大に伴い、管理部門を確立する必要性が生まれ、それを担う人材が必要となってきた。また、多種多様な事業が臨時的に起きることから当該事業に必要な人材を確保して事業の質を担保する、すなわち臨時職員をマネジメントできる常勤職員のファシリテート力・コーディネート力の高度化が課題になってきた。

② コミュニケーション：対外的コミュニケーションは推進

- 組織の構成として、本法人はこれまで会員ニーズを充足させる共同体型ではなく、第三者や社会のニーズを受け止め事業化するタイプの社会型組織を意識してきたが、その結果、会員の確保拡大は停滞してきている。会員ニーズとのバランスを改めて検討する必要がある。
- NPO全体の向上、社会課題の解決に向けて複合的な事業の必要性が高まっている中で、行政、企業・専門家・マスコミ等、様々なセクターとのコミュニケーションを進めることができた。

③ 資金マネジメント：事業拡大と収益率の向上

- スタッフの労働条件の向上に向けて、退職金制度導入などを図ってきているが、まだまだ社会的標準に到達できていない。
- これまでに寄付金などで運転資金を蓄積してきたが、大幅な事業規模の拡大により資金が不足し、理事長及び理事から短期借入をした。運転資金の確保は依然として課題であり、資金マネジメントを円滑に進めるため、収益事業の拡大、収益率の拡大、会員拡大や寄付金拡大などによる収入資金戦略を持つと同時に、適切な資金配分・作業効率の改善も必要である。

II 機関・会議運営について

(1) 総会

第9回通常総会

【実施日】 2010年6月20日（日） 13:30～15:00

【場所】 名古屋会議室 栄中央店 第6会議室

～以下、略～